

1 事業概要

事務事業名 認知症高齢者在宅支援事業		課名	長寿支援課	事業No.	91	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
法令・例規等						
事業目的	対象	介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人				
	意図	在宅での介護を受けた生活を維持する				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・介護保険該当者で介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人に対して限度額を超えてヘルパーを派遣しました。サービス内容は生活援助、身体介護に分けられます。1日1回以内とします。 ・認知症独居高齢者、高齢者世帯の者で、冬期間失火の恐れがある、凍死の心配など在宅生活が困難な場合、又福祉施設の利用が出来ない場合、冬期間の生活の場を確保しました。		介護保険外特別ホームヘルプサービス委託料				538	
			短期入所特別拡大事業委託料				75	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	ホームヘルプサービス提供者数	人	4	2				
	ホームヘルプサービス利用回数	回	674	242				
	短期的入所利用者数	人	2	1				
	短期的入所利用日数	日間	2	5				
29年度 決算 (千円)	予算額	3,696	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	613	(そ) 老人ホームヘルプサービス負担金 53千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) ふるさと寄附金 20千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	73					
一般財源	540							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	1	4	14	2	3,403	538	認知症高齢者在宅支援事業費
2	1	3	1	4	14	3	293	75	短期的入所特別拡大事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・ケアマネから限度額を超えているケースについての相談はありますが、介護保険の区分変更を提出することで限度額内に収まるケースが多く、利用者の減少がみられます。 ・利用にあたり相談はありましたが、事業の目的とは違った相談内容が多く、利用には繋がりませんでした。							
上記の課題解決のための有効策		・事業についてケアマネ自身知らない場合が考えられるので、事業について広報していきます。							
次年度に向けての取り組み		事業者連絡会等で事業の説明をしていきます。							